

やな い 議会だより

6 月 定 例 会

Yanai City Council Information

2024.7.25 No.78

【主な内容】

- ・ 定例会の概要 2 頁
- ・ 一般質問の要旨 4 頁
- ・ 委員会での審査 10 頁



大畠小学校 (写真左) と余田小学校 (写真右) 児童の議場見学

第2回定例会6月5日（水）から21日（金）までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、初日に、議案6件、追加議案1件、承認3件、同意2件及び報告4件が市長から提案され、補足説明、質疑の後、承認3件及び同意2件については即決し、議案6件及び追加議案1件については、所管の常任委員会に付託しました。また、請願1件及び陳情1件が上程され、請願は総務文教厚生常任委員会に付託し、陳情は配布・表題等の読み上げがなされました。

一般質問は6月5日に3人、6日に5人、7日に3人の計11人の議員が、25項目にわたり、市長、教

育長及び関係参与に質問を行いました。

会期中の6月10日に建設経済水道、11日に総務文教厚生各常任委員会をそれぞれ開催し、付託議案等について審査を行いました。

21日の本会議最終日は、議案7件、請願1件について委員会での審査の経過と結果が報告され、討論・採決を行い、議案は、いずれも原案のとおり可決しました。請願については、不採択と決しました。また、議長発議により、人口問題特別委員会が設置され、特別委員会委員の選任及び正副委員長の互選を行いました。



令和6年度 柳井市一般会計補正予算 (第1号)

本議案は、一般会計について1億7,204万7千円を追加するもので、歳出の主なものは次のとおりです。

商工費 金魚ちょうちん祭り事業費は、観光客の誘客に係る広告料

及び金魚ねぶた台車の更新のためのイベント交流事業補助金等が計上されています。なお、本事業は、ニューヨーク・タイムズが世界の旅行先で「2024年に行くべき52か所」を発表し、日本から唯一「山口市」が選定されたことを受けて、山口県市町村振興協会が創設した



祭り会場を練り歩く金魚ねぶた

助成金を活用しています。

教育費 体育施設費には、体育館改修工事費が計上されています。

人件費及び資材単価の高騰、想定以上の経年劣化の進行や新たなアスベスト含有の判明に対応するため、必要な経費が計上されています。主な工事内容の変更項目は、外壁のクラック等補修、第二競技場のカーテンウォール更新、2階ロビーのサッシ等更新及びアスベスト撤去等です。

議会最終日に人口問題特別委員会を設置しました。本委員会の目的は、人口減少が本市に及ぼす様々な影響や課題及び人口減少社会において持続可能な自治体運営を実現するための、具体的かつ効果的な施策について調査、研究にあたることです。

人口問題特別委員会の委員は次のとおりです。

委員長	中川 隆志
副委員長	田中 晴美
委員	岩田 優美
委員	川崎 孝昭
委員	坂ノ井 徳
委員	篠脇 丈毅
委員	長友 光子
委員	藤沢 宏司
委員	三島 好雄

特別委員会の設置について

令和5年度の政務活動費を公開します。

◎会派別交付状況（令和5年4月～令和6年3月）

単位：円

会派名	交付申請額	交付額	実績額	使途内訳	
政友クラブ（2人）	94,560	94,560	94,560	調査研究費	94,560
やない経政会（2人）	85,632	85,632	85,632	調査研究費	85,632
ナチュラルパワー（1人）	47,280	47,280	47,280	調査研究費	47,280
あゆみの会（1人）	47,280	47,280	47,280	調査研究費	47,280
柳政クラブ（1人）	47,280	47,280	47,280	調査研究費	47,280
柳甦クラブ（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
市政クラブ（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
新政クラブ（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
立志倶楽部（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
明日のかたち（1人）	47,280	47,280	47,280	調査研究費	47,280
参政の会（1人）	47,280	47,280	47,280	調査研究費	47,280
公明党（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
日本共産党（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
新柳会（1人）	42,816	42,816	42,816	調査研究費	42,816
計	716,304	716,304	716,304	—	716,304

※ 政務活動費とは、議員が調査研究その他の活動を行うために経費の一部として交付されるものです。

視察先	内 容	会派名
大阪府泉大津市	泉大津市立新図書館整備事業について	政友クラブ、ナチュラルパワー、あゆみの会、柳政クラブ、明日のかたち、参政の会
岡山県津山市	移住・定住の取組について	
佐賀県玄海町	玄海原子力発電所の中間貯蔵施設建設に至る経緯について	やない経政会、柳甦クラブ、市政クラブ、新政クラブ、立志倶楽部、公明党、日本共産党、新柳会
熊本県荒尾市	中学校フリースクール事業について	

令和6年6月定例会議案等の審議結果

【全会一致で議決した議案等】

【議案】

- ・地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について
- ・柳井市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・柳井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・柳井市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・令和6年度柳井市一般会計補正予算（第1号）
- ・工事請負契約の締結について

【承認】

- ・専決処分の承認を求めることについて（3件）

【同意】

- ・教育委員会委員の任命について（綿貫 良子 氏）
わたぬき よしこ
- ・固定資産評価員の選任について（礒部 理子 氏）
いそべ みちこ

【報告】

- ・令和5年度柳井市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ・令和5年度柳井市水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・令和5年度柳井市下水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・一般財団法人やない花のまちづくり振興財団の事業計画及び予算について

【陳情】……………（配布・表題等の朗読）

- ・学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める要請

6月定例会で賛否が分かれた議案等 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※議長は表決に加わりません。	審議結果	各 会 派 議 員 の 賛 否															賛否数			
		政友 クラブ	やない 経政会	1人会派													○ 賛 成	● 反 対		
		藤沢 宏司	平井 保彦	君国 泰照	山本 達也	田中 晴美	岩田 優美	岡村 茂樹	篠脇 丈毅	川崎 孝昭	坂ノ 井徳	中川 隆志	平岡 幸男	岡本 泰行	三島 好雄	長友 光子			下村 太郎	
【議案第 44 号】 山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	※	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	13	2
【請願第 1 号】 「刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の国への提出を求める請願書	不採択	●	●	●	※	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	4	11	

自民党員としての市長の政治姿勢、 中間貯蔵及び事業評価について



中川 隆志 議員

問 自民党裏金問題に対する自民党員としての市長の見解を問う。

答 党籍の有無とは全く無関係に、政治家として、何のために、誰のために私たちは存在しているのかを省み、自ら襟を正していく、自らを改革していく姿勢を、私たち政治家は常に持ち続けなければならないと考えている。

問 上関町の核廃棄物中間貯蔵施設建設の賛否を問うアンケートでは反対が圧倒的多数を占めた。市長はこの民意をいかに受け止めるのか。

答 アンケートに応じられた住民の意思表明であり、自由意思に基づいてお答えになられたものと認識している。中間貯蔵施設建設計画に不安感や不信の念を抱かれている住民が多いことは承知しており、そういった部分が結果に表れているのではないかと考える。したがって、そういった住民の不安や疑念に対して、電力事業者や国に向き合っていたべき点という点において、従前から考えは変わっていない。

問 市の行う事業評価の成果指標には正しい評価が行われていない恐れのあるものがある。評価結果の透明性と説明責任を果たすために評価を一元管理する組織を作ってはいかがか。

答 計画の進捗管理については、個別計画ごとに所管のそれぞれの部署において従来から行ってきた。施策の取組状況などについては、総合計画や行政改革以外にも各分野で冊子にまとめたものを毎年度作成し、取組の評価検証を行っている。このほか本市の各種計画や主要施策については、市のホームページの「計画・施策」において取組状況などを公開している。行政計画に基づき実施する各種施策については、毎年度決算成果というかたちで、議会にも報告し意見を頂戴している。また、監査委員による定例・随時の監査を受けて、施策の適正な遂行に努めている。したがって、現時点では評価を専門とする部署を特別に設ける考えは持っていない。

立地適正化計画について



君国 泰照 議員

問 コンパクトシティ計画から立地適正化計画が創設されて現在まで都市計画の見直しや廃止、防災計画も進んでおります。

しかしながら急速な人口減少と少子高齢化に伴い、空き家、空き地が増加して若者が流出し、消滅可能性自治体となりかねません。

そのため将来都市像を実現し、都市機能を維持して居住環境を誘導してまちなかの人口密度を高める必要があります。

都市機能の整備として駅南地域の空き地やJR柳井駅南口の計画についてお尋ねをいたします。

答 JR柳井駅南口の開設により、都市機能誘導区域内の都市機能向上に寄与すると考えられるが、整備費や整備後の維持管理費、また特に利用者の利便性を図るための周辺整備や歩行者動線の確保など、現時点では多くの課題がある。JR西日本の業務の効率化など、情勢の変化も見据えながら、引き続き将来的な課題とした上で、今後ともJR西日本と

連携を図りながら、市民が安心して快適に利用できるよう環境整備に努めていきたい。

問 居住誘導区域としてまちなかの人口密度を高めるためには、中心拠点の開発により、利便性や快適性を高め、子育て住宅や高齢者住宅等の安価で手軽に居住できる居住空間や福祉拠点を整備するべきと思うが、どのようにお考えか。

また、民間活力が必要であるが、官民一体となった計画は考えておられるかをお尋ねいたします。

答 居住誘導区域においては、空き家の有効活用や、空き地を活用した宅地再編整備などにより、様々な世代が快適に暮らせる環境づくりを進める必要があると考えている。とりわけ柳井駅北側の既成市街地においては、空き家や空き地が増加している現状がある。こうしたことから、道路整備と一体となった住宅宅地の再編整備が進められるよう、行政として支援できないか、その仕組みづくりについて研究していきたい。

柳井市の活性化に繋がる史跡の活用について5か所を、スピード感あふれる企業誘致の推進、図書館経由のバス運行について質す。



坂ノ井 徳 議員

問 史跡の活用について、以前より茶臼山の樹木の伐採を叫んでいました。私は素晴らしい歴史をもつ茶臼山古墳等をもっとアピールし史跡廻りにより多くの人に来柳してもらえ

る「まちづくり」の為に、茶臼山古墳を一番に挙げ更なる樹木の伐採を求め、続いて、月性展示館では展示物の書・軸に注釈を入れることで分

かりやすい展示を求め、柳井の地名にもなった湘江庵は由来看板はあるものの般若姫伝説の着色報道の工夫を、松島詩子記念館への誘導を促す

方法として信号付近を歩く人々に信号機にセンサーを付け（マロニエの並木路など）歌を流して楽しんでも

ただく工夫を求めました。
答 周辺市町の文化財等も含め、「古墳巡りコース」、「独歩のあしあと

コース」、「維新史コース」といったテーマごとの周遊マップを作成し、

愛好者を呼び込み、関心を持つ方の新たな掘り起しにつなげる取組も検討している。県・市の観光部局や、

周辺市町の関連史跡などと連携する

中で、本市の史跡をPRしていきたいと考えている。また、みどりが丘図書館の郷土資料コーナーやギャラリースペースを活用し、文化財、史跡等を紹介し、来館者に知っていただく機会を創出していく。

問 企業誘致については譲渡された土穂石側2haについて固定資産税が一日も早く入る様に訴えました。

答 昨年の秋頃からさらに複数の企業との協議を始めており、協議を深めるため、今年度実施するボーリング調査に向けた手続を進めている。

問 最後に図書館へバス運行がされる件ですが、ならば高台に図書館を造る必要があったのか。バスルートの事故の不安は無いのか。作画的な運行を感じて再考を求めました。

答 防長交通株式会社と協議を重ね、柳井駅からみどりが丘図書館まで安全運行が可能であることを確認している。運行開始時期については、現在の外構工事完了後（来春）

とこれまでも議会等において説明してきたところである。

ビジコム柳井スタジアムの改修 小田児童クラブの改善



藤沢 宏司 議員

問 ビジコム柳井スタジアムは平成3年に供用開始され30年が経過し雨漏りなど老朽化が目立ってきています。今後の改修計画、ナイター設備やスコアボードへの電光掲示板の導入についてお尋ねします。

答 ビジコム柳井スタジアムの老朽化が進む中、スタンドの防水対策や座席の改修は喫緊の課題であると認識している。今後の球場全体の抜本的な対策を検討するため、今年度、全体的な調査を行い改修箇所を整理した上で、電光掲示板の導入も含め計画的に取り組んでいきたい。なお、ナイター設備に関しては、設置経費や維持管理費、利用ニーズなどを考慮すると現状では困難であると考えている。

問 小田児童クラブは伊保庄北文化会館1階の研修室で運営されています。1階の研修室は和室で非常に狭く良好な環境とは言えません。この環境を改善するため、適切な場所で開催されるべきではないかと思いますがいかがでしょうか。

答 柳井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例により、設備の基準として児童1人当たりの専用区画面積が規定されている。現在、小田児童クラブとして利用している伊保庄北文化会館1階研修室は、この基準を満たしている。しかしながら、地域行事が開催される場合には、1階研修室から2階大会議室に移動しての保育を実施しており、その際には、必要最小限の物品しか持つて上がることができないといった実態もある。したがって、現在の場所より環境の良いい、適切な場所としての小田小学校の施設の利用について検討している。



ビジコム柳井スタジアム

中間貯蔵施設問題について 災害時の要支援者の支援対策について



長友 光子 議員

問 市長は、中間貯蔵施設に関する市民の不安の内容を、どう捉えていますか。安心して柳井に住み続けられるよう、国と中国電力には説明責任があります。説明会が、真摯な説明と議論を尽くしたものとなるように、事前に質問事項を知らせる等、条件整備を申し入れてはどうでしょうか。そして、柳井市の主人公である市民の意思をどのようにして把握するのでしょうか、伺います。

答 (高齢者、障がい者、乳幼児、外国人)の支援対策の現状を伺います。

答 災害発生時において、要支援者の安否確認や避難誘導等を的確に行うには、自助に加え、共助が重要となる。このため、避難行動要支援者名簿を毎年作成し、本人から同意を得られた場合に、民生委員その他、避難支援等関係者で共有するなど、地域での避難支援体制づくりに努めている。さらに、避難行動要支援者名簿のうち、土砂災害特別区域に居住する方の個別避難計画の作成を進めている。本市においては、災害発生時に迅速かつ的確な防災活動を展開するため、共助の要となる自主防災組織の拡充に努めており、大規模災害に対処するため、自分たちの地域は自分たちで守るという理念の下で、住民自らが身の回りの災害予防対策を行うようお願いしている。引き続き、自主防災組織結成に向け、地域と連携していく。

問 災害時に、誰一人として取り残すことのない防災計画が必要です。そこで、特に支援が必要な要支援者

人に優しい歩道と道路について



岩田 優美 議員

問 平成16年開通のレンガが敷き詰められた麗都路通りの歩道は、劣化が酷く歩くのに安全とはいえない状態となっています。歩行者はもちろんのこと車いすでも電動カーでも安全に通行できるように改善できないのか伺いたします。

答 街並みの景観に配慮しつつ、車両の出入りに耐えられる着色アスファルト舗装での改修や、レンガを敷き換えるなど、既存のレンガの特徴を生かしつつ、部分的に歩道の改修を行うことを考えている。歩行者が今後とも安全で快適に通行ができるよう整備を行っていききたい。

問 柳井川の三角橋から本橋までの歩道は完成して56年ぐらいいになります。その後、老朽化が進み新しく作り換えられていましたが、両運橋の手前で工事が止まっています。しかし、歩道とは言えないほどがたがたです。さらに、本橋から宝来橋までの歩道の真ん中には、電柱が何本も立っていてシルバーカーを押す人や車いすの人は通り抜けできず、狭い

道路を通行することになります。柳井川のこの歩道をどう考えているのか伺いたします。

答 危険な箇所については凹凸をなくし、また軽減するような補修を検討していく。電柱の移設については、中国電力ネットワーク株式会社と協議していききたい。

問 平成7年竣工の白壁の町並みの石畳の宝来橋の手前は、雨上がりには苔が生えて見た目はきれいですが歩くのには滑りやすく危険です。生活道でもあるアクティブやないへの地道風舗装道は、穴が開く度補修されていますが、全体的にがたがたで通行しにくくなっています。全体的な見直しも必要かと思いますが今後どうするのか伺いたします。

答 御影石舗装は、流出しにくい目地材への変更や苔の発生を防ぐ工法などについて研究している。地道風舗装については、沈下の原因調査を行い、舗装の打ち換えなどを考えている。景観を保全しつつ、人に優しい道路整備に取り組んでいきたい。

地域高規格道路としての柳井玖珂道路、市職員の定年以外の退職者数増加傾向について



下村 太郎 議員

問 柳井玖珂道路の実現に向けて、柳井市長が会長を務める山口県東部高速交通体系整備促進協議会の枠組みの中で、従来の取り組みに加えて行う新しい取り組みについて考えをお伺いします。

答 全国的な状況として、平成10年度以降、候補路線が新規に指定された実績はなく、柳井玖珂道路についても指定は極めて難しい。こうした中、今年度の取組としては、7月4日に山口県庁を訪問し、県知事及び県議会議長に要望書を手渡すとともに、柳井玖珂間地域高規格道路について説明を行う。柳井玖珂道路間の道路としては、現道の主要地方道柳井玖珂線の柳井中学入口交差点付近一帯の道路改良を県知事に要望し、令和4年度から交通安全事業として着手していただいている。本年2月には地元関係者を対象とした地元説明会並びに都市計画変更に向けた説明会が開催されるなど、早期整備に向けた環境づくりに鋭意努めている。地域高規格道路としての柳井玖

珂道路整備の要望活動については、新たな取組は予定していないが、これまでの協議会としての枠組を堅持しつつ、進出企業等とも連携し、山口県への精力的な働きかけを継続していく。

問 市職員の定年以外の退職者の増加傾向に変化が見られません。改善策について検討・研究の状況をお伺いします。

答 退職の理由については職員個々の事情があるが、ハラスメント等により早期退職に至る事態はあつてはならない。本市では柳井市職員のハラスメント防止等に関する規程を定めており、各種研修を行ったり、総務課に窓口を設置し相談体制を整備している。なお、入庁して間もない若手職員は、職場での人間関係が浅く、ハラスメント以外にも課題を一人で抱え込むことが想定される。そうした若手職員の声を聞く機会として、総務課による定期的な面談の実施に向けて取り組んでいく。

柳井市のおもてなしとしてのトイレ事情、暮らしやすさの水道事業経営統合について



川崎 孝昭 議員

問 大島地区自治会長集会で、ＪＲ大島駅のトイレが無くなると聞きました。大島と柳井市が合併し新柳井市が誕生したものの旧大島は、山口銀行が撤退され斎場も利用廃止と市民にとって不便になりました。

答 通学・通勤で大島駅を利用する人、地元の人には柳井市の東玄関口のトイレが無くなることはありませんと感じていますが大島駅トイレの今後についてお尋ねします。

答 昨年９月１９日に、ＪＲ西日本から、コンパクトな駅舎に建て替えるという改修の申し出があった。本市としては、観光客を含め日常的に多くの利用者が、快適に、安心して大島駅を利用するためにトイレは必要と考え、職員が何度も訪問し意見交換を重ねた。５月１７日には、周防大島町長とともにＪＲ西日本広島支社を訪れ、支社長に対し要望書を提出した。しかしながら、トイレの再築は考えていないという説明を受けた。この回答を踏まえて、大島駅へのトイレ設置については、本市が主

体となり、早急に検討していきたい。

問 大島観光センターのトイレですが、いつも掃除はよくされておられるようですが暗く床が濡れていて清潔感がありません。地域の皆さんが一生懸命働いておられるのに、トイレ一つで観光センターの評価を下げてしまうのではないかと思います。トイレはおもてなしの最低条件だと思えますがお考えをお伺いします。

答 トイレの清掃は、臭気についての苦情から水まきやモップ掛けを毎日午後１回実施している。水気について改善を指定管理者に依頼していく。また、トイレが暗いことについては、照明器具の取替えを行うこと、臭気対策としては、男子トイレの小便器を自動水洗式に改良することなどの対応が考えられる。これらの対応には、今後の課題として対応していく。

その他、暮らしやすさの水道事業経営統合について質問しました。

農業振興地域整備計画の進め方、特定外来生物への対策について



篠脇 丈毅 議員

問 農業主体者の高齢化と後継者不足で自作農が激減している。食料自給率維持の観点から、岩国市が始めた農機具購入補助を行う考えはありませんか。

答 緊急性の高いものと認識をしつつも、他市町の事例を参考に本市に当てはめたときに、どういう支援が求められているか、どういった規模で実施できるのかを慎重に検討していきたい。

問 営農型太陽光発電設備設置の話が、農振農用地区域にまで及んでいる。農政の立場からどう対処されるお考えか。

答 農業振興地域の整備に関する法律上、設置できないようにすることや農作物の種類を限定することは難しいと認識している。しかしながら、不十分な営農や周辺とのトラブルが全国的に散見されることから、営農型太陽光発電に係る一時転用許可申請がされた際には、一件一件個別に慎重に対応することで、優良農地の確保に努めていきたい。

問 新庄南部のため池がほ場整備受水に使われるが、アカミミガメによる人的被害が起こる前に対策はできませんか。

答 まずはアカミミガメを人為的に広げないため、正しい知識や責任を持って飼育することについて周知・啓発を図ることが大切であると考えている。その上で、ため池では、水抜きタイミングに駆除・防除を行うなど、地元と協議しながら、計画的に対応していきたい。

問 ヌートリア被害が市内で発生している。市内全域に広がる前に撲滅できませんか。

答 市民から出没の相談があった際には、柳井市鳥獣被害対策実施隊により、出没付近に箱わなを設置し、市民と協力して駆除している。また、農作物の被害防止対策として、ワイヤーメッシュによる防護柵も考えられることから、現在、本市の防護柵設置補助金の活用や、常日頃からの草刈り等で生息しづらい環境を作っていくことが大切と考えている。

新型コロナウイルスという病及びワクチンについての総括
これからの学校運営について



岡本 泰行 議員

問 ①新型コロナウイルスの経緯についてお聞きします。ワクチン接種後1,000人以上の方が亡くなられたり、1万人以上の方が後遺症で苦しんでおられます。集団訴訟も始まり将来薬害に認定されると思います。接種記録の保存が不可欠です。②レプリコンワクチンについてお聞きします。世界で初めて承認されたワクチンで危険性も指摘されています。治療結果は公表されるのですか。③マスクを外すにはどうすればいいのかについてお聞きします。肌荒れ、熱中症、子どもの脳と心の発達にも悪影響、良い方法はありませんか、お聞きます。

答 ①令和元年12月に中国武漢市において発生が報告され、世界中に感染が拡大した。本市は対策本部を設置し、国や県の方針を踏まえて感染防止対策を講じてきた。引き続き基本的な感染対策として、重症化予防や発症予防効果のあるワクチン接種について、接種体制を整えていきたい。②昨年11月に起源株対応ワクチンが薬事承認されているが、現時点で国から具体的な情報提供がないため、国からの情報を注視しつつ、接種希望者に対して接種体制を整えていく。③5類感染症に位置付けられ、個人や事業者の自主的な判断を基本とする対応となっており、市としては市民に対し今後も必要な情報提供に努めていく。

問 中学校部活動から地域クラブへの移行についてお聞かせ下さい。

答 地域連携を着実に進め、条件が整った学校部活動から地域移行を検討する考えとしている。また、多くの課題が解決するまで拙速に進めるべきではないと考えている。

問 以前大畠中学校で実施され成果を挙げられた、宝物ファイルについて検討できないか、お聞きます。

答 市教育委員会では、大畠中学校の宝物ファイルをはじめ、今後も成果の挙がっている各校の良い事例を積極的に紹介し、児童・生徒の自己肯定感や他者肯定感の育成につなげていきたいと考えている。

市のホームページのトップについて
平郡島の振興について



三島 好雄 議員

問 ホームページのトップページは、人々の興味を引くために重要である。今回柳井市のホームページは、全国の人口増を達成している自治体のもよりも良いものになっているが、どのようなアイデアで作られたのか、うかがいたい。

体育館改修工事の仮囲いに解像度の高いたくさん美しい写真が展示されているが、どこが作ったのか。また、今後の利用はどうするのか、うかがいたい。

答 本市の公式ホームページは、令和4年度に主にトップページのデザインを刷新した。ホームページをはじめとした広報広聴活動は、自治体経営を進めていくうえで、非常に重要な取組の一つであるとの認識のもと、市ホームページの充実、運用に努めていく。仮囲いの写真パネル展示は、井森工業株式会社から「工事現場の景観向上を図りたい」、「地域貢献したい」といった趣旨の提案をきっかけに実現した。市担当課が写真を選定し、井森工業株式会社にお

いて、写真パネルの作成及び設置を行っていただいた。工事終了後は、本市に提供していただけることから、有効に活用していきたい。

問 平郡島は、これまで行われていた芋の収穫ができなくなり、来年からは人気の焼酎の製造が中止になり、子牛の値段が安いため牛の放牧も無くなるようだが、柳井市として、今の平郡島の振興策はどう考えているのかうかがいたい。

答 今後の平郡島の振興策については、改めて島民の皆様と一緒に島の現状を見つめ直し、課題を整理した上で、島民全体が共通認識のもと進めていく必要があると認識している。その中で、地域夢プランの見直しも検討されるものと考えている。離島特有の地域課題も多くある一方で、いっぱい自然と人情あふれる島であり、引き続き庁内の関係各課や県等の関係機関とも連携し、島民の暮らしが永續できるよう、地域と地域住民に寄り添っていく。

総務文教厚生

常任委員会

委員長 岩田 優美

本委員会は、会期中の6月11日、閉会中の5月13日及び5月24日に開催し、議案3件、請願1件及び付託調査事項等について審査を行いました。

分割付託の令和6年度柳井市一般会計補正予算（第1号）については、歳入に関して委員から緊急防災・減災事業債である体育館改修事業債について、事業費に対する充当率は合併特例債と同じなのかとの質疑に、緊急防災・減債事業債の100%に対して合併特例債は95%なので緊急防災・減災事業債が有利であるとの答弁が

ありました。

歳出に関しては、体育施設費の増額はアスベスト除去にかかる追加工事とのことだが、事前の調査に不備はなかったのか、工期延期にはならないのかとの質疑に、アスベストは設備配管の保温材や断熱等を目的として天井材などに利用されていた。事前調査では穴を開けたり、壊すところまではできないため、改修工事を始めてから想定以上のレベルであることが判明した。安全に十分配慮しながら工期内に改修工事ができるとの答弁がありました。

請願第1号「刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の国への提出を求める請願書については、紹介議員

の補足説明、委員からの質疑の後、不採択とすべき意見が多かったため、採決により決することになり、挙手により不採択と決しました。

付託調査事項の学校教育等問題についてでは、委員から学校部活動の地域移行に関する取組について進捗状況はどうなっているのかとの質疑に、昨年度から本格的に協議を開始しており、地域連携を確実に進めて、条件が整った部活動から地域への移行を進めていくとの答弁がありました。



防災に関する事項についてでは、備蓄の状況について報告の後、委員から防災備蓄品のパターションは体育館での避難時に使用するものかとの質疑に、災害時に体育館内に設置し医師などが巡回して健康状態が確認できるテントを配置すると

の答弁がありました。最後に、タブレット活用、算数補助教員による少人数指導等の授業の実施状況について、大畠小学校・柳井小学校への管内視察を行いました。



タブレットを使った授業の様子



総務文教厚生常任委員会

建設経済水道

常任委員会

委員長 三島 好雄

本委員会は、会期中の6月10日、閉会中の4月26日に開催し、議案5件及び付託調査事項等について審査を行いました。

議案第40号地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について、委員から今までの

実績を問う質疑に、事業は移転型と拡充型の2つの事業があり、移転型は東京23区からの本社機能の移転というもので実績はない。拡充型は地元企業の本社機能の拡充に対するもので、本市の場合半島振興法による不均一課税や過疎法も適用できる。この条例の適用実績はないという答弁がありました。



月1日に条例改正等をするという答弁がありました。

議案第43号柳井市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について、委員外議員から来年度に上水道のみが経営統合されるが、それ以降の条例はどうなるのかという質疑に、令和7年4月1日経営統合以降については、現在の上下水道事業に係るものについて一旦廃止し、新しく令和7年4

付託調査事項については、4月の委員会では、東土穂石雨水ポンプ場の事業進捗について、委員から完成時期を問う質疑に、ポンプで雨水を排水できるのは6月、全体の完成は1月であるという答弁がありました。

6月の委員会では、柳井地域広域水道企業団事業計画「概要版」について及び柳井地域広域水道企業団規約の一部変更について報告がありました。

閉会中の付託調査事項は、①中心市街地の活性化と企業誘致につ

いて②地域資源を生かした観光の振興について③上下水道事業について④農林水産業及び地域の活性化についての4点に決まりました。

そのほか執行部からの報告と説明の後、様々な質疑応答がありました。



建設経済水道常任委員会

議会運営委員会

委員長 篠脇丈毅

議会運営委員会を5月16日、29日、6月7日及び13日に開催しましたので概要を報告します。

(1) 議会におけるタブレットの運用について、6月議会に限り議案のみ紙ベースと併用としました。

(2) 6月定例会の会期、日程及び議案の付託先等に関する協議を行いました。

(3) 5月29日議長から「常任委員会の在り方について」調査研究するよう諮問がありましたので、6月13日の委員会では今後の進め方について協議・確認しました。

(4) 人口問題に対応するための特別委員会の設置につき、本会議での取扱いを協議しました。

(5) 5月1日から執

行部が年間を通してノーネクタイ等の働きやすい服装での勤務を推奨するとしたことに伴い、議会での服装は今後協議することになりました。

(6) 当委員会の付託調査事項は「議会の運営及び議会の会議規則、委員会に関する条例等並びに議長の諮問に関する事項について」と決定し、議長に取り計らいをお願いしました。



議会運営委員会

傍聴にお越し下さい

柳井市議会では議会の傍聴ができます。本会議、委員会では、市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されます。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴しましょう。

主な議会の動き

4月



- 5日・山口県市議会議長会定期総会
- 11日・議会だより編集委員会
- 17日・会派代表者会議
- 22日・山口県光市からの視察受入れ
- 23日・中国市議会議長会理事会・総会
- 24日・中国市議会議長会視察
- 26日・建設経済水道常任委員会

5月



- 13日・総務文教厚生常任委員会
- 14日・柳井地区広域市町議会議長会監査・定期総会
- 15日・東京都昭島市からの視察受入れ
- 16日・議会運営委員会・会派代表者会議
- 21日・余田小学校6年生議場見学
- 22日・全国市議会議長会定期総会
- 24日・総務文教厚生常任委員会管内視察
- 29日・議会運営委員会

6月



- 5日・本会議1日目
- 6日・本会議2日目
- 7日・本会議3日目・全員協議会・議会運営委員会
- 10日・建設経済水道常任委員会
- 11日・総務文教厚生常任委員会
- 13日・議会運営委員会
- 21日・本会議最終日・人口問題特別委員会・議会だより編集委員会

会議のお知らせ

閉会中の各委員会の日程は次のとおりです。

○建設経済水道

常任委員会

7月29日(月) 午前10時から

○総務文教厚生

常任委員会

8月5日(月) 午前10時から

(午前9時から管内視察)

○人口問題特別委員会

8月6日(火) 午前10時から

【場所】

全員協議会室(市役所5階)

※傍聴することができます。

編集後記

セミの鳴き声に夏の到来を感じさせられるこのごろです。

これから暑い日が続きますが、何とぞご自愛のほどお祈り申し上げます。

やない議会だより編集委員会

委員長	長友光子
副委員長	岡本泰行
委員	岡村茂樹
委員	平岡実千男